



暑さが和らぎ、過ごしやすい季節になりました。日が沈むと聞こえてくる虫の声が、秋の訪れを感じさせてくれます。園庭に出ると、トンボが飛び回り、子どもたちは大喜びで追いかけています ✨ 朝晩は涼しく、気温の差が激しい時期でもあります。体調管理も気をつけていきましょう。いつもと違う様子がありましたら、お伝えをお願いいたします。

けんかが子どもの発達にもたらすもの

友だちとのぶつかり合い、遊びの中で子どもたちは人間関係を学んでいきます。

集団を作り始める4歳ごろは、仲間はすれをしたり、友だちにいじわるを言うことがよく起こります。

子どもはトラブルを通して、強烈な「自我」を感じつつ、対人関係についても学び始め、自我を形成していきます。

けんかを通して友だちとのかかわりを重ねていくと…

コミュニケーション能力や感情のコントロールの基礎ができていきます

友だちとの言い争いでは…

自分の思いを認識し、思いを言葉で伝え、それを粘り強く続ける力が試されます

心が発達することは、負の感情が育つことでもあります。

負の感情をもつことは、悪いことではなく、人間の自然な姿です。

大事なことは、負の感情をなくすことではなく、それをコントロールする自我を育てることです。

負の感情をストレートに出せる幼児期はむしろ貴重です。

こうした体験を潜り抜けることが、互いの痛みを知り、人とのコミュニケーション能力を育む基礎にもなります。



保育園では、子どもの感情を肯定し、子ども同士で解決できるように見守りかかわるようにしています。負の感情を経験してもそれ以上の喜びの感情を味わえるような体験ができたらと思います。

【緊急時の対応について】

- 震度5弱以上の地震が起こった時、水害による避難準備情報が発令された時は、連絡がなくてもお迎えをお願いいたします。園にいたことが危険と判断した場合は、二次避難先の「日本文理高等学校」へ避難をします。
- 10月の避難訓練は、火災により二次避難先まで行く訓練を予定しています。
- 11月の避難訓練は【引き渡し訓練】です。4月に提出していただいた「引き渡しカード」を使用し、お迎え時に記入をしていただきます。緊急連絡先に変更がある方は、必ずお知らせください。また、災害があった際の避難場所をご家族で話し合っておきましょう！